

☆☆文庫あれこれ☆☆

◆この1年、せっせと伊豆高原に通いました。来るたびに自然の移り変わりの妙味に感嘆しています。◆ここ、大室に親が家を建てて48年。お正月休み、夏休みくらいしか訪れなかった気がします。◆ここに来ると開放感を味わいこの狭い敷地の中だけで満足し帰ったものです。ですから、まわりの施設にはほとんど関心がありませんでした。◆けれども、月に1度やってきて、この地に生活している方と触れ合って、いま、自治会の方々の努力で、昔つけられた理想郷の名が生きてきているように思います。◆おとなりのびわが実りました。子どもの声がすると思ったら、文庫の会員のYちゃん姉弟が長い竿のようなもので落としていました、その家の主のほら頑張れ、もう少しの声に支えられて。◆来月は、文庫の一周年です。文庫でのおはなし会のほかに、毎年伊豆高原の駅・大きなくすのきの下でやっている「第7回伊豆高原・海の日のおはなし会」もあります。部屋のなかで聴くおはなしも楽しいですが、夕暮れから始まりくすのきに囁く風の音とともに聴くふしぎなおはなしは私たちをこの世を超えた世界へいざなってくれます。ぜひお誘いあわせのうえ、いらっしゃってください。◆多くのみなさんに、先月、バザーにご協力いただきました。バザーを運営して下さった「沙羅の樹文庫友の会」の方々から売り上げ金をいただきました。大切にに使わせていただきます。◆そして、また新しい1年をみなさんと楽しい本の交流をはかれましたら嬉しいです。目下、会員160名を突破しました。◆そして、そして、何と100冊読破して、「友の会」有志手作りのプレゼントをもらった人が子どもさんと2名います!◆読書の深さ、喜びは、読んだ本の数と比べるものではありませんが、それでも、この文庫で、みなさんにたくさんの本と出合っていたきたいと思って、新聞書評や、本屋、図書館を巡り歩いております。◆会員更新の手続きをお願いいたします。(西村)



これからの催し物予定

文庫開館一周年記念・子どものためのおはなし会

7月15日(日)午前10:30~11:30

於 沙羅の樹文庫

海の日のおはなし会:

7月15日(日)夕方5:00~7:30

於 伊豆高原駅・大きなくすのきの下

夏休み文庫特別開館期間

8月12日(日)~19日(日)

※通常開館日を含めて。

文庫の本で宿題や調べものやってみよう!

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆7月は、文庫一周年です。上記をご参照ください。文庫の開館は、14日(第2土曜)と15日(第3日曜)、通常の間です。

◆8月は、通常の第3土日(18, 19)のほかに上記開館予定。

◆文庫の時間は土曜日は午後2時~5時、日曜日は午前10時~午後3時

◆毎月開館日の日曜には、子どものための小さなおはなし会があります。午前10:30~11:00です。

◆文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日ではなく第2土曜日ということもあります)。

沙羅の樹文庫だより

No. 10

(2007年6月号)



爽やかな5月から月がかわって

うっとうしい季節?に

もう梅雨に入ったのでしょうか。

この季節は文庫の中も何だかしとっとしています。

でも、今月の文庫の日はお天気のようにです。

姫娑羅の樹に白いちいさな花がいっぱい、

そしてぼんぼんと落ちて庭一面

花で埋め尽くされています。

まもなく夏の到来ですね。

そして文庫は2年目を迎えます。

若葉の頃のおはなし会の報告

5月のイベントの最後は2つのおはなし会でした。

大人のためのおはなし会

- | | | |
|----------------|-----|--------|
| ・花咲かじい | 語り手 | 伊藤雅恵さん |
| ・花見酒・あたま山 | | 富本岱助さん |
| ・青頭巾 | | 富本岱助さん |
| ・ねこの名前・ひとつがふたつ | | 富本京子さん |
| ・花仙人 | | 望月裕子さん |

男性の語りはまた一味ちがいました。楽しい話、こわい話、心を打つ話に、聴き手のみなさん、堪能されたことでしょう。男性の聴き手がいて嬉しかったこと、真剣に聴いてくれる小6の女の子から、力をいっぱいもらった、と花仙人の語り手が言っていたことを言い添えます。

おひざでだっこのおはなし会

- ・ろうそくばっ・よくきたね・だっことおんぶ・だっこのえほん・ゴリラのおきかえ(人形を使って)・トイレいけるかな・パンツのはきかた・・・そして、布遊び・ふれあい遊び・お手玉たいそう 指導 富本京子さん

心配していた参加者も会員の呼びかけが効を奏して、赤ちゃんから幼稚園まへの幼児とママ、パパが5、6組は集まりました。毎週ご自分の文庫で、また図書館で赤ちゃんに接しておられる富本さんの魔法です。ちっちゃな人たちが、ママのおひざで、パパのおひざで、次から次へと富本さんから出てくる魔法を楽しんでいました。



小学生のためのおはなし会

- | | | |
|------------|-----|---------|
| ・ふたりのあさごはん | 語り手 | 野崎楼乃ちゃん |
| ・あずきとぎのおぼけ | | 野崎遥太郎くん |
| ・でかぐちガエル | | 野崎千夏さん |
| ・馬とヒキガエル | | 伊藤雅恵さん |
| ・えんこいいか | | 望月裕子さん |
| ・山のグートプラント | | 高橋純子さん |
| ・うんつきどっこい | | みなさんで |

5歳の楼乃ちゃん小3の遥太郎くんには、驚かされました。幼いころよりおはなしを聴いているとあんなふうに語れるものでしょうか。新1年生から4年生までたくさんのお友だちが縁側にすわっておはなしや手遊びをいっしょに楽しみました。

★このおはなし会は、東京世田谷で35年文庫をやってきた山の木文庫富本京子さんと文庫の方々で作っている〈山の木おはなしのたね〉のみなさんのご協力で実現しました。この文庫でも、おひざにだっこのみなさん対象におたのみしめ会ができるようにしたいなあと思いました。

新入庫案内

大人の本

次のコーナーもご覧ください。

そして、**ねずみ女房は星を見た**(清水真砂子著 テン・ブックス 2006) / **予防と健康の事典**(小学館 2007)

YA (ヤングアダルト) の本

失われる物語 (乙一著 角川書店 2007) / **たそかれ**(朽木祥作 福音館書店 2006) / **獣の奏者** 上下 (上橋菜穂子作 講談社 2006)

子どもの本

白狐魔記・戦国の雲 (齊藤洋作 偕成社 2006) / **ハイラム・ホリデーの大冒険** 上下(ギャリコ作 ブッキング 2007) / **エルマーのぼうけん・エルマーとりゅう・エルマー16びきのりゅう**(福音館書店 2006 新版) / **プチ・ニコラもうすぐ新学期**(偕成社 2006 新版)

★そのほか絵本(タイトルのみ)

ちいさなピョン / たなばた / かさ / 雨がふったらどこへいく? / 水たまりおじさん / としょかんライオン / かいじゅうたちのいるところ

♥♥♥新刊入庫のなかから 大人の本紹介♥♥♥

今月も新刊をいれました!

『象の背中』(秋元康著 産経新聞社 2007)

あと半年の命……。末期ガンを宣告された48歳の男。妻に子どもに愛人に遺すものは……。いくつかの書評を読んでみると、夫にとっては非常にインプレッシブな、妻の立場としては非常に切ない話のようなのですが。

男性にもお薦め、そして妻という女性は何を思うのでしょうか。今秋映画化封切だそうです。

『永遠のとなり』(白石一文著 文藝春秋 2007)

会社を辞め妻子とも別れ、何もかも壊して故郷に戻った男と、9年前ガンを発症し、結婚、離婚を繰り返す男。2人の親友はこのやるせない人生を受け入れられるのでしょうか。

夫さん方に読んでほしい本2冊続きました。

『めぐらし屋』(堀江敏幸著 毎日新聞社 2007)

今度は女性が主人公です。離れて暮らしていた父の死後、遺品の中に、「めぐらし屋」と記したノートを発見します。ほわっと生きていた主人公は、父の仕事・父の軌跡を訪ねているいろいろな人にめぐりあいます。

雑文は好きで読んでいますが、初めての作家です。“わからないことはわからないままにしておくのがいい”こんな考え方でできるだろうか、と思う私です。

『とげ抜き新地蔵縁起』(伊藤比呂美著 講談社 2007)

これも女性主人公。しかし、彼女はまさに素っ裸の赤裸々さで、人間の苦界をこれでもかこれでもかと私たちにたたきつけます。

詩人の伊藤さんです。こんな詩の形態もあるのですね。散文のよう。著者とは、一度「死の祭りツアー」メキシコ旅行で5日ほど一緒しました。ほんの一言二言話しただけですが、ごく普通の常識人に見受けられましたが、……。お好きでない方もいるかも知れませんが、年を経ると私たち女という代物のなかに蠢くさかも知愛くおもえたりして。一読お薦めです。

『古本暮らし』(荻原魚雷著 晶文社 2007)

心の張りがふりきれるような本と出会い……。本好き私たちを代弁してくれているのかしら。まだ若い作者の本さがし生活です。(颯・花・空)